

結

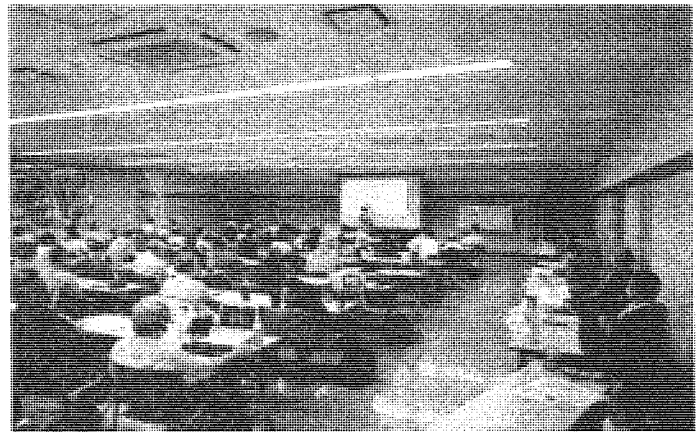
ゆい

安倍（菅）政権は「日本国憲法を無視」する無法政権だった。今、私たちの目の前に見えるのは法治国家を捨てた滅びの道。わずかに抵抗する方法は、野党が結集して新しい勢力を作ること。ところで、その野党の結集に参加できなかった人々の理由が「原発ゼロ」の綱領に賛同できないとは、いかにも象徴的ではないか。なんて時代遅れの人たちだろう。安倍政権とどこが違うのか。チエホフの戯曲「桜の園」を思い出す。桜の園と共にあった時代の、その美しい記憶に囚われた人々は、その思い出とともに滅ぶ道を選ぶ。若い人はそれを捨てて新しい人生へと旅立つ。米国では10代のビリー・アイリッシュが「トランプではなくバイデンに投票しよう」と呼びかけた。

「温暖化や新型コロナを否定する者ではなく、認めてしっかり対策する者を選ぼう。棄権するな。投票しよう。自分自身の行動が自分の未来を作る。」これはグレタさんと並ぶ若い世代の言葉だ。原発と化石燃料にしがみついた日本がモーリシャスの美しい海を汚染させた。原発と化石燃料を捨てるのは、日本の未来への一里塚だ。
 (たかだ洋子)

2020年10月1日 発行：ユニオンと連帯する市民の会 「結」編集委員会

第22号



安田浩一氏（ジャーナリスト）の講演会と討論会「警察・検察とヘイト集団が結託する弾圧の構造」
 8月30日、労働会館ホール（金山） 主催 関西生コン労組つぶしの弾圧を許さない東海の会

□新しい市民的社会連帯.....	小野政美... 2~5
■社会運動の歴史散歩—ユニオン学校フィールドワークに参加して.....	大場一哉... 6
□コロナ禍での労働運動.....	植木日出男... 7
■コロナ禍で考えること.....	牧野三枝子... 8
□ニーメラーの言葉を思い出す.....	たかだ洋子... 9
■労組つぶしの核心、攻撃と闘う変革の道.....	小林文仁... 10
□フィリピントヨタ労組の現状.....	近森泰彦... 10~11
■失業者の労働運動 一知多自由労働組合の結成.....	佐藤明夫... 12~13
□自衛艦「おおすみ衝突事件」裁判の証人として.....	柿山 朗... 14~15
■『左翼の反省と展望 社会主義を志向して60年』から考えること.....	櫻井善行... 15~16
□行事予定：10月ユニオン学校.....	16
■編集後記.....	たかだ洋子... 16

新しい市民的社会連帯

小野 政美（愛知県退職教員）

前号で、「新型コロナ禍現象」による偏見・差別・排除・暴力について、若干の分析と問題提起を行った。続編としてここに「新しい市民的社会連帯」の思想・言葉・ネットワークの多彩な試みに向かう一人の人間・個人が何を始めることが必要なのかを問い直す。

1. 外国人労働者の共助の活動（新しい市民的社会連帯の多彩な試み）

コロナ禍で、外国人労働者の存在感と自前の共助・助けあいの活動が浮き彫りになった。移民・移民労働者を置き去りにする政府と異なり、地方自治体や市民団体、そして移民・移民労働者・外国籍住民らによる活動が各地で始まっている。多言語での行政案内や生活相談、労働相談が各地で取り込まれている。「移住者と連帯する全国ネットワーク（移住連）」では、特別定額給付金から排除された生活困窮者への「現金給付」を行う「移民・難民緊急支援基金」活動を行い、5月8日から4カ月間で、目標2000万円を大幅に超える33,278,975円の寄付と15,140,000円の助成金、総計48,418,975円が集まり、8月末までに1,427人の移民・難民を支援した。

日系ブラジル人のネットワークでは、集住地域の群馬県大泉町に一時宿泊所をつくり、「リスタート」のための職業訓練や職業紹介を行ったり、カトリック教会が中心となった

技能実習生のためのホットライン活動も。東海地域でも「ユニオンみえ」や「名古屋ふれあいユニオン」など、地域のユニオン・労働組合が派遣切りに対する交渉や雇用調整助成金のための企業要請に取り組み、自前の共生・共助、助けあいの活動として、外国人労働者・外国籍者を意識したフードバンクや子ども食堂も始まっている。「新しい市民的社会連帯」の多彩な試みがひろがっている。

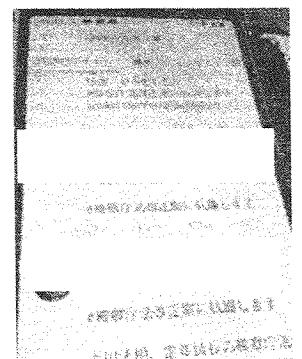
コロナ禍は、日本の農業・漁業の現場に労働者不足による経済活動逼迫の事態をもたらした。その場しのぎの稚拙な制度づくりである外国人技能実習生の建前は完全に崩壊するに至っている。この実習制度を廃止し、次の社会のための制度を創設するべきである。いまこそ、労使対等原則が担保された受入れ政策と移民政策が日本社会に求められている。

2. 「ツイッターデモ」

新しい市民的社会連帯の多彩な試み

「ツイッターデモ」は、権力に対する民衆の闘い方の多様性を拡大した。「検察庁法改正案」は、検察官の定年を引き上げるとともに、内閣や法相の判断で定年を延長できる規定が新たに盛り込まれ、政府は成立を目指していた。それを断念させたのは1000万人以上が参加した「ツイッターデモ」だった。権力者による権力支配の策謀を正面から反対して阻止できた画期的な闘いだった。5月8日から現れたTwitterの「#検察庁法改正案

に抗議します」わずか3日弱で470万件のツイート。5月9日に日本のTwitterトレンドの1位になり、10日には著名人にも一気に広がり俳優の小泉今日子さん、宮本亜門さん、浅野忠信さん、秋元才加さん、井浦新さんらが投稿。10日から11日にかけて、こうした著



名人の投稿やメディア報道を受け一気に数字を伸ばしていったことがわかる。その結果、短期間に誰も想像できなかった 1000 万人以上の「ツイッターデモ」が結果的に組織され、結果的に安倍晋三首相に法案成立を断念させた。

始まりは、30 代女性が投稿した 1 件のツイートだった。最初に投稿した女性「うれしかったのと同時に怖かった」と語っている。「コロナになってずっと家にいることが長くなって。それで国会（中継）を初めて見てみたら、おかしいというか何か変というか、『これちゃんと議論になってるのかな？』と。かみ合っていないのに法案が決まっているのとかが不安で、『この人たちで大丈夫かな？』って思い始めた。そんな時に黒川検事長のニュースが入ってきて、誰かがやってくれるだろうと思いつつも、自分でもやってみようかなと思ってツイートした」。反響の大きさに

恐怖も覚えたという。「自分が想像もしていなかったような多くの方が声をあげてくれた喜び。数の力というのがどんどん増えて、それがすごくうれしかったのと同時に怖かった」

女性にも誹謗や中傷は寄せられた。それでも投稿を後悔していないと話した。「日本人の行動がちょっと変わった。政治に今まで関心がなかったというか、本当はちょっとは関心があったけど不満もあった。その不満を言うと批判されるような世の中だが、それでもみんながちょっと言ってみたということができた。そのきっかけになったのは本当にうれしい」(ABEMA/『けやきヒルズ』)。

今回の経験は、権力に対抗する多様な闘い方を拡大し「新しい市民的社会連帯」の萌芽になるだろう。

3. 香港民衆の持続する闘いもまた「新しい市民的社会連帯」の希望の萌芽

中国の全国人民代表大会常務委員会が「香港国家安全維持法」を成立させた。香港での国家分裂活動などを禁止する治安法制である。2019 年、容疑者の中国引き渡しを可能にする「逃亡犯条例」改正案への反対デモが続き、香港がマヒ状態に陥った。これに危機感を持った中国が自ら制定に動いた。国家分裂、中国政府転覆、テロ活動、外国勢力との結託の 4 犯罪が対象となるが、その定義は不明確だ。最高刑は終身刑で中国で裁かれる危険性もある。香港には中国政府の出先機関が設置された。司法、立法、行政の 3 権にわたって統制が強化される。民主活動家の黄之鋒氏や周庭氏らが、所属する民主派団体「香港衆志」から脱退する意向を相次いで明らかにし、午後には同団体や香港独立派の団体や学生団体が香港での活動休止を



次々に表明した。9 月からは、教科書からも、天安門事件、雨傘運動、などが削除された。図書館も統制された。香港の公立図書館は、民主派の著作の一部について、閲覧と貸し出しを停止した。公共図書館のサイトによると、黄氏が著

した「我不是英雄（私は英雄ではない）」や、香港の完全な自治を主張した陳雲氏の「香港城邦論」、民主派立法会（議会）議員の書籍などが、全ての収蔵図書館で閲覧できない状態だ。親民主派の香港紙・蘋果日報（アップルデイリー）によると、対象書籍の蔵書数は 400 冊近くに上り、政府当局の要請によって国安法に違反する内容かどうか検閲が行われている。

香港メディア

香港政府や中国共産党への厳しい論調で

知られる香港紙、蘋果日報（アップルデイリー）は危機感を強め、記者が拘束される事態にも備えながら「報道の自由」を貫く構えだ。「電話は盗聴されるリスク、取材ではやりとりが暗号化される通信アプリを使う」。同紙は発行部数約 10 万部ながら、反香港政府・反中国の報道姿勢が支持され、インターネット版の有料読者は約 60 万人に上る。昨年続いた市民の抗議活動には記者ら約 50 人を取材に投入した。総編集（編集長）を務める羅偉光氏（46）によると国安法施行後、有料読者が増えた。「読者の期待に応えるためにも編集方針を変えることはない」と言い切る。ただ、香港警察は圧力を強めており、記者拘束も現実起きた。同紙は弁護士 2 人の連絡先を全記者に配布。取材中に拘束されても法的支援ができるよう体制を整えた。国安法は市民の言論の自由にも影を落とす。羅氏は「ものが言えなくなると危惧する市民は多い。言論・報道の自由を守るため、私たちは書き続ける」と決意を新たにす。

しかし、8 月には、『蘋果日報』の創業者・黎智英氏も同法違反容疑で逮捕され編集部などが自宅捜索された。黎氏らは「外国勢力と結託して国家の安全に危害を加えた」容疑をかけられている。「報道の自由」が失われ

4. 大坂なおみ選手の行動も「新しい市民的社会連帯」の視点で

大坂なおみ選手は 8 月 26 日、準決勝まで勝ち進んでいたウエスタン・アンド・サザン・オープンの棄権を表明した。『人種差別主義者でない』ことだけでは十分ではないのです。『反人種差別主義者である』ことが必要であり、重要なことなのです』（『Esquire』）と発言し、ツイッターで「私はアスリートである前に、一人の黒人女性です。黒人女性として、私のテニスを見てもらうよりも、今は注目しなければいけない大切な問題があると感じています。私がプレーしないことで劇的に何か起きるとは考えていませんが、白人が多い競技で議論を始めること

れば、「1 国 2 制度」は完全に崩壊する。

香港市民の「無言」の抵抗

「レノン・ウォール」と呼ばれるボードがある。思い思いの一言を書いた小さな付箋を貼って連帯を示す、付箋の貼られたボードのこと。香港の街中、飲食店などにもあったその付箋ボードも、法の施行後は同法違反に問われる可能性がある。そこで登場したのが、何も書いていない付箋を貼った「無言」のレノン・ウォールだ。色とりどりの付箋だけのボードは、香港市民の強い怒りを示している。当初は「光復香港 時代革命」を意味するアルファベットなどが並べられていた。武装警官がそれを見て「国安法違反だ」と警告。これを受けてボードを撤去する動きが相次いだ。だがその後、各地に「無言」のレノン・ウォールが出現した。警察もこれでは取り締まれない。ある飲食店は交流サイト（SNS）に「無言」のレノン・ウォールの写真をアップし、童話「星の王子さま」の言葉を添えた。「いちばん大切なことは、目には見えないんだよ」。また多くの市民はスローガンを連想させる絵や記号などを SNS に次々と投稿。「声なき声」を上げている。



ができれば、正しい道へのステップになると思います。」と発信した。

米国のウィスコンシン州ケノーシャで起きた警察官による黒人男性銃撃事件（8 月 23

日)に抗議の意思を示すためだった。5月アメリカでジョージ・フロイドさんが警察によって殺害された事件の動画をみたときは「心が張り裂ける思い」だった。そして、現場のミネソタ州ミネアポリスを訪れ、平和的な抗議活動に参加し、追悼の場所で人々をつなぎ、失われた命を悼んだ。「今こそ、構造的な人種差別と警察の暴力にたいして声を上げるときなのだ」と決心したのです」

こうした中、迎えた全米オープンではすべての試合で、アメリカで警察の人種差別的な暴力の被害に遭った黒人犠牲者の名前が入った黒いマスクを着用して抗議の意志を示した。1回戦を終えた直後のインタビューでは決勝まで進んだ場合を想定して合わせて7枚、7人の名前のマスクを用意したとして、そのすべてを着けることがモチベーションになっていることを明かした。犠牲者の1人マーティンさんの母親は大会期間中、大坂選手に感謝を伝えるメッセージを送った。大坂選手は、決勝進出を決めたあと、「世界中から反響があり、事の重大さを伝えられていることが分かってよかった。遺族からメッセージを受け取ったときはとても感動したし、皆さんに私の声が届いていると思いうれしかった」と話した。この行動に米国では称賛の声が続いている。

一方、日本では「無責任」「日本国籍ならBLMに賛同するな」など、嘲笑や非難を伴う

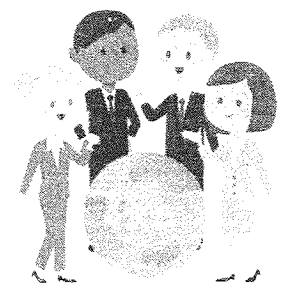
「新しい市民的社会連帯」の思想・言葉・ネットワークの多彩な試みとして、以上4つに絞って考えた。さまざまな現場で、一人の個人が始める行動の歴史的社会的意味を、「全体主義体制」・「相互監視社会体制」・「新ファシズム」に対して、私たち一人一人が、自立した個人・労働者・市民として対抗する「新しい市民的社会連帯」の視点・思想・言葉・ネットワークを果敢に試みることこそが、私・たちに望まれている。

果たして、私・たちは、「偏見・差別・排除・暴力の歴史的社会的縮図」としての「新型コロナ禍社会現象」から、その先の「新しい市民的社会連帯」の視点・思想・言葉・ネットワークの多彩な試みの向こうに行けるだろうか。

反応も流れている。日本企業の関係者は「上まで勝ち上がっている時にやらなくてもね」「それで企業のブランド価値が上がるかといえば別問題・・・」別のスポンサー企業関係者からは「人種差別の問題と本業のテニスと一緒にするのは違うのでは」との声も聞こえてくる。しかし、大坂選手は決して一人ではない。テニスの大坂選手の呼びかけに賛同しバスケットボールの八村塁選手はデモ行進に参加。プロ野球・楽天のオコエ瑠偉選手は肌の色ゆえに日本で受けた過去のつらい体験をツイッターに投稿し反響を呼んでいる。

Twitterでは「#大坂なおみさんを支持します」というハッシュタグが作られ日本のトレンドに入った。「スポーツと政治を混同するな」「アスリートの政治的発言はいかなものか」という批判にたじろぐことなく、大坂選手は反論して「アスリートは政治的に関わるな、ただ楽しませればよいという意見が大嫌い・・・もしIKEAで働いていたら、IKEAのソファの話しかしちゃいけないの？」と発信している。優勝後のインタビューで「何を訴えたいか」と聞かれ「あなたはどう受け取りましたか」と応えた。

全米テニス協会は政治的メッセージを出すなどしつつも、大坂選手が被害者のマスクをつけるのを認めて、白人優勢のテニス界の考え方を変えさせた、大坂選手が黒人犠牲者の「名前」を刻んだマスクをつけて人種差別反対を訴えたことは、歴史に残るほどの大きな意味があるだろう。



社会運動の歴史散歩

(ユニオン学校フィールドワーク) に参加して

居酒屋楽人・大場一哉

ユニオン学校フィールドワークが 8 月 22 日に行われ参加してきました。この日は、数日前の天気予報では雨になるのではと思われましたが、いいのか悪いのか快晴の暑い日となりました。

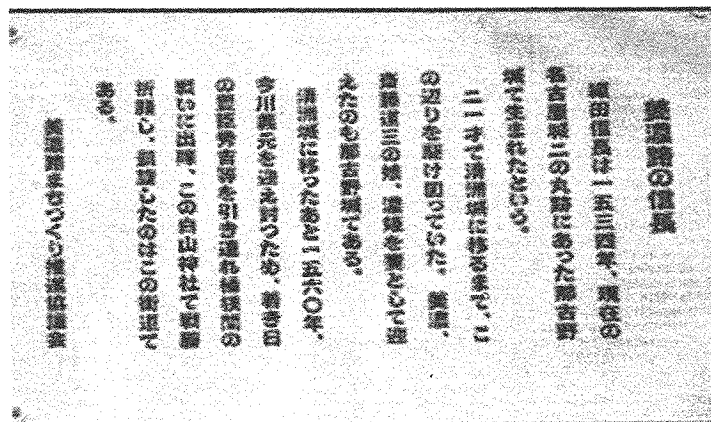
今回のテーマは、名古屋における社会運動の中心的な場所であった西区を見て歩き、過去を振り返るものでした。地下鉄「浄心駅」の UFJ 銀行に 15 時に集合、隣接の西生涯学習センターにて事前レクチャー、センターに掲げられた大正時代の浄心界隈の絵や木村さんの祖父がかかわった小作争議の写真などを見た後、ユニオン学校木村校長の引率で出発。

稲生街道を少し北へ、中電児玉変電所(中電最古)を左折し、児玉本通りを西へ、きむら書房(旧労研資料保管)に立ち寄った後、「児玉白山社」、「丹羽長秀邸跡」(織田信長の重臣、誕生地・子孫は福島県の二本松藩の藩主として幕末まで続く)、「旧志水家車寄と風信亭」前を通り押切公園へ。ここから南下し、名古屋西高等学校(旧女子師範・市川房枝)前を通り「観音寺」(竹本義太夫来演)、豊田紡績押切工場・東芝跡を臨みつつ美濃路へ。そして西へ。「惣兵衛川橋」たもとにて東枇杷島の歴史を振り返る。枇杷島市場と全国農民組合愛知県連合会(委員長は柴田末治弁護士)本部跡、八坂町の皇国農民組合同盟本部跡を通過し「手焼き おかきや」にてお土産を購入して美濃路を東へ。「榎白山神社」の見物を経て「旧保健所・旧西区役所」(旧名鉄押切駅)から東南方面へ、「馬喰町」(矢木鍵次郎の平民新聞講読協会跡・初期社会主義運動)を通り、円頓寺へ。御札降りの謎を求め、最後は葉山嘉樹の旧居跡。但し予定していた日本陶器の北側にあった戦後の共産党の出発拠点(共産党愛知地方委員会の看板が立った中島平三宅)は暑さのために寄れませんでしたが、およそ 2 時間ほどの行動でしたが、一回だけでは過去を振り返るには不十分、再度開催していただきたいと思います。

(主催者より：今回参加者は 7 名でした。毎回人数制限しながら実行しますから、二次募集、三次募集と繰り返していきたいと思っています。)



皇農児玉支部作離解決記念(児玉白山社・昭和 11 年)



「美濃路(東海道と中山道をつなぐ脇往還) 宮宿 - 名古屋宿 - 清洲宿 - 稲葉宿 - 萩原宿 - 起宿 - 墨俣宿 - 大垣宿 - 垂井で中山道と合流」

名古屋をとりまく歴史街道(<http://network2010.org/article/209>)

コロナ禍での労働運動

植木 日出男

コロナ禍収集の未通しが立たない中で政権交代が行われましたが、新しく首相となった菅首相は「私が目指す社会像は自助、共助、公助、そして絆だ」と「自助」を重視する考えを強調しました。しかし、コロナ禍では深刻な労働弱者の切り捨てが生まれており、その中で「自助」出来る人がどれだけいるのでしょうか。

増える非正規失業

8月の厚生労働省が公表したデータによると、新型ウィルスの感染拡大に起因する解雇や雇い止めにあった非正規労働者は2万人を超えました。しかし、集計は労働者や事業者から都道府県労働局・ハローワークに寄せられた、報告・相談などをまとめたものであり、全体を把握したものではありません。厚労省も「網羅的なものでない」と認めており、氷山の一角にすぎません。

また総務省の「労働力調査」では、今年7月の非正規労働者は昨年と同月と比較すると131万人減となっており、一部は正社員に変わったとしても大幅な減少になっていることは、間違いありません。特に、「宿泊業・飲食サービス業」、「建設業」等、非正規労働者が多い職種の減少が大きくなっています。

これらの状況は、外国人労働者でも同様であり、3月以降のコロナ禍に直面した企業では非正規労働者や外国人労働者など、弱い立場の人が真っ先に切り捨てられ、「雇用の調整弁」となっている現状が明らかになっています。

動かぬ大企業の組合

このような状況で、大企業の企業内組合は、非正規労働者の雇い止めなどの対応に対しては何も行っていません。その上、黒字の企業でも春闘の定期昇給さえ取りやめ、実質的な賃下げを組合が容認する中で大企業はリストラさえ実施しようとしています。

企業としては、労働者の犠牲によって企業を再生しようとしているのです。

緊急時に機能しない労働委員会と司法

本来は労働者の解雇・雇止めに対して、迅速に動かなければならない「労働委員会」はどうでしょうか。愛知の「労働委員会」は、コロナ禍の中では、ほとんど動かず「労働者の救済機関」としての役割を放棄してきました。また、司法（裁判所）でも大幅に審議を停滞させるなど、コロナ禍の中では機能不全の状態となっていたのです。

必要なユニオン（労働組合）のネットワークの強化

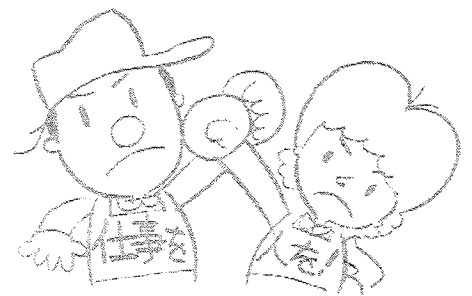
労働争議においては、非正規労働者の争議は大きく増えていませんが、これは対応できるユニオン（組合）が少ないという現状と、労働者の生活がひっ迫しているため、労働争議にまで行かないのです。

コロナが蔓延する中で各地域のユニオンは、労働相談の強化などの対応を強めていますが、大幅な相談件数の増加で動きが取れない状況も出ています。一方、団交相手の会社からも「コロナ」を理由に団交の引き延ばしを図ってきています。

緊急事態を理由とした雇止め・解雇をさせないためには、ユニオン間のネットワーク強化で情報の

共有化を図り、協力体制を構築するため、今後を見据えたユニオン

ネットワークの改善が必要ではないでしょうか。



コロナ禍で考えること

牧野 三枝子

在宅勤務(テレワーク)を考える

果たしてどれだけの人々が在宅勤務をできるのでしょうか。在宅勤務ができない人々の働きがあって在宅勤務ができていることを認識したい。ネットショッピングができるのは、配達する人があってのこと。宅配も多くの人の手によって品物が自宅に届く。ごみ収集も作業する人の手があるから処分場へと移動していく。

NTTのコマーシャル

ネット面接、ネット会議、その中に子どもが入り「笑顔があふれた」とのナレーションに強い違和感を感じた。果たして会議中に子どもが出てくることを、皆は容認するようになったのか？

かつて乳児を連れて議場に出席した女性議員に、議場が男性議員の抗議で混乱した。彼らは、今は喜んで迎え入れるのか？

極めつけは菅官房長官の「ワーケーション」これはなんだ！！

仕事と休暇で旅行をすることが一体となった言葉?? えっ?

もし移動中に事故に遭ったらどういう対応になるのか? 工作中かプライベートか。

労働時間の管理について長い間、労働組合として改善を求めてきた。

始業時・終業時の現認を上司が正しくすることによるサービス残業をなくす闘い。

昼休み休憩をしっかりとる取り組み。

みんな蔑ろにされていく。

時間管理を闘うことはできなくなるのだろうか?

パソコンの電源を ON・OFF するだけで時間管理をするのだろうか?

以前勤務をしていた職場は出退勤をパソコンで管理していた。しかしパソコンの電源を落とし仕事をする人や、人の ID を使い仕事をする人もいた。

仕事とプライベートを区分することができなくなる。

長時間労働の危険を感じる。

ラッシュに遭わず通勤がないだけ楽だという声もたくさん聴く。またパワハラ上司と顔を合わせなくてよく、パワハラが減るという人もいるが果たしてそうだろうか?

産業医であり労働安全衛生コンサルタントの阿部眞雄医師からの進言の記事を読んだ。『全国センター通信』の「新型コロナウイルス感染症と職場の労働安全衛生活動」という通信です。その中に【在宅勤務は孤独と孤立を生む】とある。少し引用したい。

- ・孤独感や孤立感は、人と離れていることにネガティブな感情が含まれている寂しさであり、メンタルヘルス不調の温床です。
- ・在宅勤務は、メリハリをつけるという意味がないと、漫然と一日中使いにくい机や椅子に縛り付けられ、心身ともに拘束され、メンタルヘルス不調の土壌になります。
- ・ネット会議では、必要最低限の機械的コミュニケーションに追われ、上司や同僚とのリレーション(人間的関係性)は失われていきます。



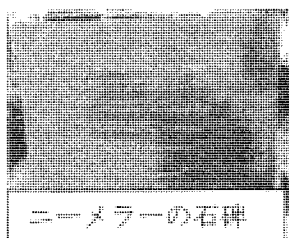
まさに私が危惧していることが書かれていました。しかし、この流れは進むでしょう。これから仕組みや工夫が必要になると考えます。なし崩し的に進められていくことに不安を感じているのは私だけでしょうか?

ニーマラーの言葉を思い出す

たかだ 洋子

ドイツのマルティン・牧師の有名な後悔の言葉はこんな感じ。

【ナチが共産主義者を襲ったとき、自分はやや不安になった。けれども結局自分は共産主義者でなかったのでもしなかった。それからナチは社会主義者を攻撃した。自分の不安はやや増大した。けれども自分は依然として社会主義者ではなかった。そこでやはり何もしなかった。それから学校が、新聞が、ユダヤ人が、というふうに次々と攻撃の手が加わり、そのたびに自分の不安は増したが、なおも何事も行わなかった。さてそれからナチは教会を攻撃した。そうして自分はまさに教会の人間であった。そこで自分は何かをした。しかしそのときにはすでに手遅れであった】



ニーマラーはキリスト者だったから、「神はいない」と否定する共産主義者は好きじゃなかったかもしれないし、ユダヤ人のことも好きじゃなかったかもしれない。だからこれは、好きじゃない人たちの人権を守ろうとしなかった自分への後悔の言葉なのだろう。

高校生が公道でビラまきして逮捕された事件があった。

目黒区立第九中学校の副校長が、路上にてビラ配りをしていた高校生（20歳）を、公道において私人逮捕。公務執行妨害。（高校生のスマホ動画には、副校長が自らぶつかっていきながら「暴行を受けた」と主張する姿が写っていた）警察が呼ばれ、高校生は任意同行された。黙秘したので、身柄拘束され20日間拘留された、家宅捜索も受けた。高校生の配っていたビラは、高校のプールの授業に関するものであったが、そのビラに書かれた

所属団体名は「日本自治委員会」だったそう。ツイッター上には「日本自治委員会って得体がしれない」「共産党」「革マル」「20歳の高校生って変」「中学校の門前、公道でも先生は出て行くでしょう」人々の反応がツイートに現れる。人々は皆、本人にも非があるように納得しようとしている。つまり「好きじゃない人たち」の人権については行動しないニーマラーにつながる。

自分の心も例外ではない。

多数の組合員が逮捕された連帯ユニオン（全日本建設運輸連帯労働組合）の関西地区生コン支部の労働組合活動。ビラを配る行為、あるいはストライキが「威力業務妨害」「え？」、コンプライアンス活動は「恐喝未遂」「え？」、労働組合活動がそんな罪名で逮捕されるなんて、恐ろしすぎると思うのだが、生コンのおっちゃんたちって、ちょっと強面な感じだから「本人たちに非はないのか？」という消極性が人々の心を支配する。

ところで、

高校生を私人逮捕した副校長〇〇は、その名前がバズったので、オーストリアにてバイオリン活動している女性から「その名前の方は私の中学時代の担任と同一人かしら」とのツイッター応答があった。動画に写っている人の言動のために12歳だった彼女は病気になった。摂食障害、円形脱毛症。公立中学へ通うのに弁護士をやとわねばならず最終的にはPTSD（心的外傷後ストレス障害）と診断された。「10年経った今もこのように思い出すと苦しくて辛い」そうだ。

やっぱり、逮捕された人よりも、その逮捕を導いた人たちの方が、「やばい人」かも。

労組つぶしの核心、攻撃と闘う変革の道

関西生コン労組つぶしの弾圧を許さない東海の会 小林 丈仁

警察官が、関西生コン組合員を逮捕した時に『許せない』と言ったのは、次の3点。「背景資本への闘い」「不当労働行為に対するペナルティ(罰金)」「企業の枠を超えた運動」。この3点が、『許せない』と、警察官が組合員に言ったことだそうです。8月30日の講演の中で、安田さんはこの3点に加えて「関ナマ労組が、社会的・政治的な意義をもった、安保・沖縄・差別を許さないなどの社会運動を、諸団体と共同して行ってきたこと」を付け加え、「関西生コンが目立ってしまうのは事実であり、警察、国家権力、大企業、ネトウヨ、この4者が、関西生コン労組を、目の敵にして潰そうとしている。連帯して跳ね返していきましょう」と呼びかけを行った。



変革のみち

講演会当日、会場付近には、宣伝カーがきた。私らは、「安田講演をつぶす！」と会場正面に宣伝カーを乗り付けたリーダー、瀬戸弘幸はじめ10人と向き合った。

安田さんは参加者の質問に答えながら「100人も集まってくださることは東京でも経験がない」と述べられた。「正しいことをして逮捕される時代・・・正しいことに自信を」「アメリカの黒人差別との闘いでは大規模なデモで法律を変えた」「小さな闘いを続けることが重要、労働組合は世の中を変えるためにある」・・・

安田さんは、関西生コン弾圧と闘っていく

ことの意義を社会変革の始まりとして訴えられた。

関西生コン労組弾圧は、労働組合の行うストライキに対しては損害賠償を求められないとする「民事免責」をも奪おうとする攻撃だ。私は、労働組合が、資本主義、新自由主義と対決していくなかで、社会変革への大衆的な支持をつくりだす、そのような創造的な時代が目の前にひろがっている、講演を聞いてそういう思いを強くしています。

フィリピンヨタ労組の現状

ユニオンと連帯する市民の会 近森 泰彦

8月9日に20年間に亘って支援運動の重責を担ってこられた田中さん(全造船OB)を迎えてフィリピンヨタ労組を支援する愛知の会主催の学習会を20人の参加で行いました。

フィリピンでは、コロナ禍が広がる中、大統領独裁を強め「麻薬犯」撲滅作戦という名目で、政府に反対する組織指導者の殺人が広がっています。経済的に危機的状態に追い込まれる中、20年に亘って闘い続けてきたフィリ

ピントヨタ労組の組織、団結、情宣等の生命線が解体されてしまうのではという心配に、いま、とらわれています。幸いにも当労組は公然たる移動・集会・行動が不可能ながらも、国家権力に付け入るスキを与えることなく組織と団結を維持しています。

フィリピン政府はこの問題について、度重なるILO勧告を受けています。内容はトヨタむけで、憲法で保障している労働組合の自由と権利を侵すトヨタと正面から向き合うように勧告されています。フィリピンの労働雇用省は日本政府（厚労省）に対して高官レベルの話し合いを申し入れています。実現せず、ILO勧告を実行する術を失っているのが現状です。この状況下、フィリピンの争議団と日本の支援組織は今回、次善の策として、外務省のOECD（経済協力開発機構）日本連絡窓口と東京オリンピック・パラリンピック森会長の二者に対して、両者ともにILOとの間で、「デーセントワークを促進する合意書」を締結し、ILOの『多国籍企業および社会政策に関する原則の三者宣言』遵守を明言していることを抑えたいと、最大のスポンサーであるトヨタに厳正な対応をとるように求めました。

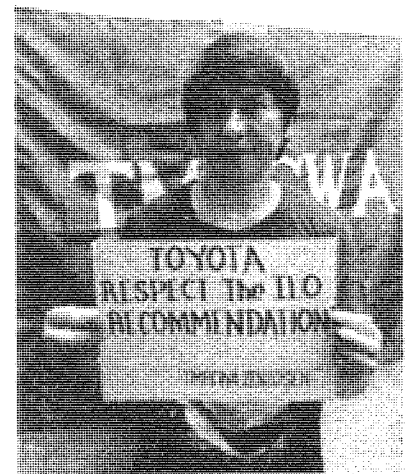
【トヨタ本社はフィリピントヨタ工場の労働者が20年前に立ち上げた労働組合を嫌悪して、257名の組合員を解雇しました。これに対しILOは繰り返し勧告を出し『解雇は団結権および団体交渉権の侵害であり、解雇を取り消すか、どうしても不可能ならば適正な補償を行うこと』という最終文書をフィリピン政府に手渡しました。これを受けてフィリピン労働雇用省は役割を果たそうとしましたが日本政府は頑なに拒み続けてきました。】日本連絡窓口の担当者は、すでに話し合いを受け入れていますので進展に期待しています。

関西生コン労組支援との共同も視野に

コロナ渦の下で豊田章男社長は「人権尊重企業神話」を拡散。しかしトヨタの利益追求は更なる下請けいじめとなっています。私はこの分野で働く労働者とのつながりを広げているユニオンの活動に注目しています。

フィリピントヨタ労組弾圧は、安倍政権の「労働組合のない日本社会づくり」の先取りとも見えます。国家権力を動員した関西生コン労組潰しや動労千葉労組弾圧は、労働組合法の守っている基本権を侵害したもので、抗議の行動は日本各地に広がりました。これらの運動とも連帯していきたいです。社会の富を創る6千万人の労働者・勤労者。この人々からあくことなく搾取し、富を蓄える大企業。彼らの献金で成り立つ政府。コロナパンデミックは、国民の生命と暮らしを犠牲にして大企業経営を守る政府の立ち位置を国民の前に映し出しています。

命を狙われ、自宅に帰れない日々のエド委員長から学習会参加者にメッセージが寄せられました。『フィリピントヨタ労組を支援する愛知の会の皆さんに心から連帯の挨拶をおくります。・・7月にドゥテルテ大統領によって「反テロリズム法」が施行されました。空腹と貧困そして失業から必然的に人民の反乱がおきることを先取りして予防（殺人を含む強権的弾圧）するためのものです。私たちはいま抗議行動を物理的に展開することができません。新たにソーシャルメディアを活用して組合員の意思統一を図っています。・・我々のこの闘争は世界の全労働者階級の闘争に寄与するものだと思います。』



失業者の労働運動 — 知多自由労働組合の結成

佐藤 明夫

はじめに

かつて、1950年代から70年代にかけて、活力にあふれた失業者のための労働組合が存在した。全日本自由労働組合（全日自労）である。最多期の1960年には、全国で約20万人の組合員を組織していた。中心メンバーは、公共職業安定所（職安、現ハローワーク）が斡旋する公共事業に登録して日雇で従事する労働者、求職中の失業者であった。

筆者がこの労働組合と出会ったのは、1953年のメーデーであった。当時、東京教育大学の四年生で、学生自治会が参加を呼び掛けていたこともあり、学生生活の最後の記念にと友人たちと出かけることにした。神宮外苑に行くと、元気よく労働歌を合唱し、スローガンを叫ぶ中年の団が目に入り、誰からともなく「やっ！ニコヨンのおっちゃん、おばちゃんたち、元気がいいな！」と声がかかった。「ニコヨン」とは、失対事業の一日の平均手

知多半島にも自由労働組合が生まれていた

その経緯と初期の運動を残されたわずかな資料と証言からたどってみたい。

①大量失業者造成の状況

1948年末から1949年にかけて、対日占領政策が大きく右に転換した。すなわち、米ソ冷戦対立の進行、中国共産党の進出を背景に、全日本産業別労働組合会議（産別会議）指導の労働攻勢に危機感をもったアメリカ政府は、占領軍に指示して日本を「反共の砦」とする政策を強力に推進した。

占領当初は民主化政策を基本とした占領軍総司令部（GHQ）であったが、日本の資本主義体制を再建し、日本共産党や産別会議などの左翼勢力を制圧する方針に転換した。それが1948年12月に出示された経済安定九原則の指令であった。具体的な労働政策は、行政整理（公務員）、企業整備（民間）の名目に

当が240円だったことからくる日雇い労働者のことであるが、蔑称でなく、愛称として自他ともに使用していた。「ニコヨン」たちを主人公とする今井正監督映画『どっこい生きている』（1951年）がベストテン入りして、この言葉が普及したといわれる。

職安登録失業者を「自由労働者」と称したが、その由来を説明する資料は見つからない。レッドパージの性格をもつ人員整理による解雇者が多かったので、従来の土木建設関係の日雇労働者と区別して、職業選択の自由をもつ「失業的労働者」の意味で、誇りをこめて「自由労働者」と自称したのではなかろうか。自由労働者を結集した自由労働組合は、1949年頃から全国各地域で創意工夫をこらして結成され、当初は全日本土建一般労働組合に属していたが、1953年10月、全日本自由労働組合として独立した。

よって、組合活動家を含む大量の人員整理（解雇）を実施することであった。いわゆるマッカーサーの「レッドパージ」は、1950年夏からであるが、49年の人員整理も先行レッドパージの性格をもっていた。

愛知県では1949年3月の愛知時計（約3千人）、大同製鋼（約2千人）、愛知製鋼刈谷工場（約600人）を皮切りに秋までクビキリの嵐が吹き荒れた。これらの企業では産別系の労組を中心として、激しい解雇反対争議が行われたが、米軍の介入もあり、敗北せざるを得なかった。唯一の例外が武豊町の山二産業争議（『結』18・19号）で、会社側の全員解雇通知を40日間のストライキによって、撤回させることに成功している。

国内全体では、1949年の1年間で民間企業約43万5千人、政府関係公務員約29万人、

地方公務員13万人が整理(解雇)された(藤原彰『日本現代史』1986年)。同年7月の下山事件・三鷹事件、8月の松川事件などの謀略事件を利用した反共キャンペーンが争議の拡大を抑え、大量解雇を容易にした。

一方では、こうした人員整理(解雇)によって生まれた大量の失業者への対策が治安問題もあり、緊急の課題となった。政府(第三次吉田内閣)は1949年5月に「緊急失業対策法」を制定、実施した。失業対策のための公共事業を失業対策事業といい、これに従事した日雇い労働者を失対労働者と呼んだ。失対事業の予算は求職失業者に対して、常に枠が不足し、日当も最低限の生活すら満たすものではなかった。1950年1月の全国の求職登録者数は約28万人であったが、失対事業予算は一日平均4万人分にすぎなかったという(松尾洋「転換期の民衆運動」『占領と民衆運動』1975年)。一時的に日雇いの職を得る人とそれすら得られない人(アブレ)とを分断する仕組みであった。この状況にたいして求職失業者は団結し自由労組を結成してたたかうのである。

失業者の中には共産党員や元組合活動家も多かったから、彼らが中心になり運動を展開した。彼らは全国各地域で自発的に「仕事をよこせ」「最低の生活を保障せよ」「再軍備反対」という要求で強力に運動をすすめた。

② 失業者同盟の結成

愛知県半田市の半田金属工業(株)は、旧中島飛行機半田製作所の役員であった藤森正巳が敗戦直後に社長として設立し、旧中島の資材や設備を温存するためのダミー会社であったと言われる。従業員の多くを旧中島から採用し、資材や用地も使用した。1946年末から自転車を生産し、48年には約3万6千台を生産し、従業員は1300人を超える知多地方最大規模の大企業に成長した。(西『中島飛行機の終戦』2015年)

半田金属労組の結成時期は不明であるが、

1947年9月と48年4月に労組が会社側を不当労働行為として県労働委員会に提訴している。48年12月には年末闘争であろうか、波状ストを繰り返した(『愛知県労働運動年表(稿)』)。これらの運動を指導した人物の一人が、半田文化学校の二期生で共産党員であった富嶋(鈴木)金吾であった。いつからか明確ではないが、富嶋が組合委員長であった(証言)。

1949年8月、会社側は従業員の大量解雇を労組に通告した。労組は解雇反対の争議に入るが、団体交渉は条件闘争にならざるを得ず、9月7日退職条件を交渉し、9月10日624名の退職者を出すことで自主解決した(前掲年表)。半田金属は翌年4月に倒産している。

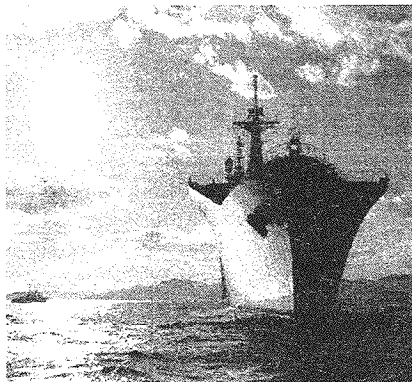
注目すべきことは、その後、富嶋たちが中心になって退職者の組織化をすすめたことである。10月11日「半田金属退職者同盟」の結成大会が半田商工会議所で開催され93名の退職者が参加した。来賓として共産党知多地区委員会初山善平、愛知県失業者同盟会長沢田金康(元大同製鋼労組役員、のち津島市会議員)、在日朝鮮人連盟知多支部金漢振が出席している。大会は規約案を審議し、役員を選出、運動方針を決定して閉会した。規約では、退職者同盟が行う事業として、◎元会社への交渉、◎職業安定所への交渉、◎県及び市への交渉、◎就職斡旋に関する連絡、◎内職斡旋などのことを挙げている(『愛知県労働運動史一』1982年)。相互扶助的な組織であるが、自由労働組合の運動方針の原型がみられる。解雇者が分散せず、自らの組織を作り、助け合おうとした意義は大きい。この同盟が、知多自由労組の母体となった。

なお、「失業者同盟」の表現では、1949年7月に大同製鋼失業者同盟が結成され、8月に愛知県失業者同盟が結成されているが、企業別であることに限界があり、失業対策事業の実施とともに地域別の自由労働組合に発展的に解消する。(次号へ)

自衛艦「おおすみ衝突事件」裁判の証人として

戦没船を記録する会理事 柿山 朗（元外航船長）

門前払いの連続から証人尋問へ



2014年1月に起きた空母型輸送艦「おおすみ」と釣り船「とびうお」が広島湾の阿多田島沖で高森船長と同乗者1名が死亡、一人が重傷を負う衝突事故が発生してからしてから6年半を経過する。海上保安部は「おおすみ」を見張り不十分、適時適切な操船を行わなかった過失で広島地検へ書類送致した。だが、事故の1年後、運輸安全委員会は事故調査報告書を発表、「おおすみ」が進路・速力を保持して航行中に、「とびうお」が突然右転して船首至近に接近し、衝突したと「とびうお」の全面過失の判断をした。広島地検は2015年12月、運輸安全委員会報告書を全面採用し「おおすみ」を不起訴とした。検察審査会も告発人の審査申立てを不起訴処分相当と議決した。2016年5月、遺族と原告が「真相を闇に葬らせない」として国家賠償請求を提起したのが今回の裁判である。

被告尋問で明らかになったこと

「おおすみ」側証人として艦長、航海長、船務長、見張り員、レーダー監視員など乗員の多くが証言したが、前述で事故原因とされる「とびうお」の右転を誰ひとりとして見ていなかったことが明らかとなった。イージス艦「あたご」と「清徳丸」の衝突事故を契機に艦橋内の音声記録などが公開されるように

なった結果、「おおすみ」の避航動作（減速と操舵）の遅れ、左へ舵を切るべきところを右としたこと。汽笛吹鳴の遅れ等々が明らかになった。いずれ「とびうお」が避航するだろう、と漫然と航行していたことが事故原因である。

国側の描くもう一つのストーリー

自衛艦側証人が繰り返したのは『漁船は大型船の船首を横切ると大漁という迷信に従い「とびうお」は右転した』『漁船は平気で大型船の前を横切る』という主張だ。私は船舶の操縦、操船で50年飯を食ってきた者だが、人間は恐怖心から命を賭してまで横切ろうとはしないものだ、と断言する。こうした自衛官たちの「とびうお」に対する揶揄について、新聞記者時代から海上自衛艦と民間船の

衝突事件を注視してきた大内要三さん（日本ジャーナリスト会議会員）は、『かつて「あたご事件」の裁判では、2人の被告はともに証言の冒頭に、事件による死者の冥福を祈る、と明言した。しかし今回、おおすみの乗員は誰も死者への哀悼の言葉を述べず、重大事件の当事者であるという自覚が感じられなかった。海上自衛隊はさらに非人間的になったのだろうか』と語る。

原告側の証言

「とびうお」で唯一の生存者の乗客の寺岡章二さんは、遭難の様子について「ほじゃけえ、

もう死ぬか思うたですよ、そんなときは、必死に泳いでからほんで、浮き上がって。」と、

迫真の証言をした。「とびうお」の右転は「全然そんなことはないです。」「絶対ないです。」と強調した。

もう一人の証人である私に対して、国側代理人は、以前の「人民新聞」などへの寄稿を読み上げて「反自衛隊の思想の持主」と断定し、どのような立場で証言台へ立っているのか、繰り返し問われた。私は自分の思想、信条に基づき発言していると言うのが精一杯で悔しい想いを引きずっている。

年明けにも判決へ

潜水艦「なだしお」と「富士丸」の事故では瓦力防衛庁長官が引責辞任し、イージス艦「あたご」と「清徳丸」で対応の遅れを批判

された石破防衛大臣は、内閣改造で留任しなかったのはこの衝突事件が理由だったと後に認めている。今回の「おおすみ」では、政府の対応は早かった。まだ現場で救助、捜索が行われている最中、衝突から20分後には危機管理センターに官邸対策室、防衛省には事故対策会議が設置された。政府にとって今回の事件が重要案件であることは疑いがない。私は国交省の一部署に過ぎない運輸安全委員会が「付度」して出来上がったのが「おおすみ右転」のストーリーだと考えている。この裁判を執念で引っ張って来た船長の妻、紘枝さんは今春にコロナ禍で亡くなった。司法の反動化の中、予断を許さないが年明けには朗報を報告したいと強く願う。

『左翼の反省と展望——社会主義を志向して60年』から考えること

櫻井 善行

村岡到氏の新著『左翼の反省と展望』（ロゴス）を一気に読んだ。60年以上の左翼経験への真摯な反省と未来への展望への書である。本書の構成は3部からなる。

第1部 左翼・社会主義者としての反省

ここで語られるのは、自分史の総括である。若き日に社会主義に魅せられ、運動に入った人は数多い。しかし多くは、青春時代のメモリーとして、あるいは麻疹のような一過性の出来事として、思い出話を語る人が多い。真摯に反省する弁は聞かれない。それは社会変革への情熱ではなく、その時代の単なるトレンドであったのだろう。村岡氏はかつての誤りを隠そうとはしない。本書を読んで過去の真摯な反省の上に現在の姿があることが理解できる。

第2部 社会主義像の新探究

ここで語られるのは、氏を中心にしてこの間、切り開かれてきた社会主義像の提起である。ソ連邦に代表されるかつての社会主義国が一部の例外を除き崩壊した今、なおも社会主

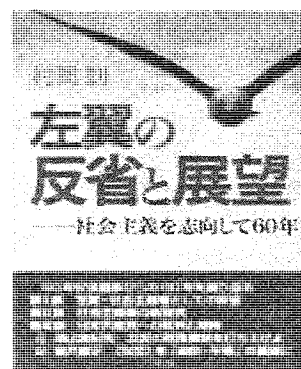
義こそが人々の希望であるとする人にとって、めざすべき社会主義とはどのような

のか・・・という視点は、社会主義論の発展のために必要であり、ヒントとなる。

第3部 日本共産党への批判と期待

氏が一貫して行ってきた日本共産党との対話の到達点である。ずいぶん大人になったこの政党だが、まだ氏の存在を、反共文筆家としてしか認知していない。しかし精力的な活動によって、周辺部からの対話は広がりつつある。遠からずの日にその軋轢から解放されるのではと思った次第である。

1970年の前後メディアにもてはやされた日本の新左翼は、行き過ぎはあったが、当時の若者の新鮮な感性の表現であった。た



たとえば「社会主義国」の「現状」への反発批判は、新鮮な提起であったが、当時の「大人」の対応は、十分ではなかった。内ゲバに代表される唯我独尊の新左翼運動の不幸な行く末の出発点になった。「内ゲバ」は、今では当事者も含めて誰しもが否定している。とはいっても、その不幸な過去を真摯に省みた考察は多くはない。自らの汚れた過去を隠蔽し、何事もなかったかの如く、正義を振りまくことすらある。

私には、政治の劣化や退廃が進行し、労働者をはじめとした国民生活が酷くなるのに、確固たる対抗軸が形成されないのはどうしてか、という思いが強くなる。「中央」から

少しでも外れた異論を述べると、「荒唐無稽」とか「重大な侵害だ」という指摘も聞かれた。正論を振りまくだけの人は、私の回りにも数多くいる。言っていることは間違っていない。にもかかわらず、多くの人の共感や共鳴が得られない。これまでの行為への洞察・反省がない。傲慢で他人の意見を聞けない人も少なくない。謙虚さや寛容が欠落している。私は物事への受容は部分的であってもいいと思う。本書で拙著への共感と異論も述べている。そこに触れる余裕はないが、異論への留保は必要である。多くの人に読んでもらいたい。

さくらい よしゆき 事務局長代行

.....
行事予定：10月のユニオン学校

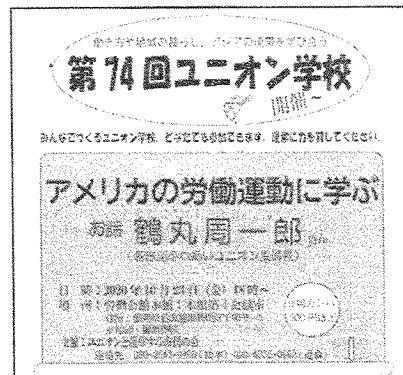
10月23日(金)18時～

鶴丸周一郎さん

(名古屋ふれあいユニオン委員長)のお話

「アメリカの労働運動に学ぶ」

労働会館本館第4会議室にて



編集後記

7月のユニオン学校は「ジェンダー平等のいまをどう考えるか」をテーマに石田好江さんの報告を受けた。25名ほどの参加があり、女性は3割ほどであった。『結』はジェンダーに関心を持って編集しようとする方針を持っている。ユニオンと連帯する市民の会は、パリテ(男女半々)で運営できれば、新しい時代に対応した先進的な活動が生まれるのではないかと合意している。雇用機会均等法、男女共同参画基本法、女性活躍推進法などと政治主導でジェンダー平等が推進されているが、これは滅私奉公の男性仕様の働き方の世界に「参画」するだけの機会を女性にも与え、それを「平等」と述べ「参画しない」のも「自由意志による自己決定」であるという自己決定のレトリック・新自由主義そのものの思想である。この時代のユニオンはパリテでなければ、その使命は果たせないことを教えられた。(たかだ)

■□ 事務局連絡先 □■

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町9-3

労働会館本館306号 健康センター内

Tel&(fax): 052-883-6966(6983)

メール: sfi7wtkd@tg.commufa.jp

ユニオンと連帯する市民の会

お願い! 原稿、感想、情報、意見をお寄せ下さい。

1部 100円

本年度の会費・カンパの振込をお願いします

振込先

郵便振込

口座番号: 00820-7-169123